

大平内閣総理大臣を悼む

「故大平正芳」内閣・自由民主党 合同葬儀次第

日時 昭和五十五年七月九日(水)午後二時
場所 日本武道館

一、開式の辞 葬儀副委員長 小淵恵三

一、黙とう

一、故大平正芳総理の生前の声

一、追悼の辞 葬儀委員長 伊東正義

自由民主党副総裁 西村英一

衆議院代表 灘尾弘吉殿

参議院代表 安井謙殿

最高裁判所長官 服部高顕殿

友人代表 森永貞一郎殿

一、天皇皇后両陛下お使御拝礼

一、供花 皇太子同妃両殿下

正仁親王殿下

崇仁親王同妃両殿下

寛仁親王殿下

一、献花

一、御遺骨お見送り(閉式)

葬儀は、約六千人が参列して厳かに営まれた。この葬儀には、アメリカのカーター大統領や中国の華国鋒総理など百八カ国と二つの国際機関の代表が参列した。

内閣・自由民主党合同葬儀における伊東正義葬儀委員長の追悼の辞

(昭和五十五年七月九日)

正二位大勳位故大平正芳内閣総理大臣の内閣・自由民主党合同葬儀が執り行われるにあたり、謹んでご靈前に追悼の辞を捧げます。

去る五月三十日、わが国憲政史上初の衆参両院同時選挙の壁頭、あなたは全国遊説の第一声に当たり、渾身の力と情熱を込めて内外の急務を説き、政局の安定を訴えられました。その声は梅雨空を引き裂くほど大きく、その身振りはかつてないほど力強いものでありました。

まさにこの第一声のさ中、あなたは、突然、心臓の発作に襲われたのであります。しかし、その苦痛をおしかくし、最後までその日の日程を終えられました。そして、入院わずかに旬日余、運命は、非情にもあなたをこの世から奪い去ったのであります。

大平総理

あなたは、信義を守ること厚く、友誼を重んじ、慮かるところ深く、ひとたび決するや、自らの信念を貫いてやまぬ人でありました。その生涯は、文字通り、邦家のため、国民の幸福のために捧げつくされました。そして、七十年の生命を、戦いのさ中、壮烈な死によって閉じられたのであります。

ここに永別の時を迎え、ありし日の慈味あふれる温容を偲び、万感胸に迫って、言うべき言葉を知りません。

あなたは、明治四十三年三月、香川県三豊郡豊浜村の農家に生を享け、時あたかも大正デモクラシーの時代にあつて多感な青春を送り、幾多の精神的試験を経て、ひとびとに対する愛の心を育くまれました。

高松高商に学び、東京商科大学を経て、大蔵省に奉職し、池田大蔵大臣秘書官をつとめられたのち、昭和二十七年には、先輩知友のすすめによつて、郷土香川県より、衆議院選挙に立候補されました。これがあなたの政界へのスタートであります。

政界入りして八年、早くも池田内閣の官房長官の要職につかれ、豪直な池田総理を援けて、柔よく内を固め、将来の日本を背負う逸材と目されました。

あなたの才腕は、その後至るところに発揮されましたが、七〇年代に入り、戦後世界がようやく転換期を迎えるや、外務大臣、大蔵大臣、自由民主党幹事長の重職を歴任され、激動の時代の克服に全力を傾けられたのであります。

とりわけ、外務大臣としてのあなたは、透徹した洞察力をもつて歴史の潮流を見極め、昭和四十七年には、至難と見られた日中国交正常化を成し遂げて、十億の隣国の民との間に子々孫々にわたる友好のかけ橋を築かれました。信を腹中に置く至誠と、信念に殉じては八ツ裂きにされてもやまぬ不屈の精神がなければ、この偉業は成就し得なかつたといつて過言ではありません。

あなたはまた、ゆたかな識見をもつて、つねにすぐれたヴィジョンを提示されました。地方の時代、文

化の時代の到来を予感した田園都市国家構想も、あなたのこの時代の政治思想の結実であります。

昭和五十三年、あなたは、全党員党友の輿望を担って、自由民主党の総裁となられ、内閣総理大臣の重責を負われました。

時あたかも、八〇年代の開幕を目前に控え、世界は、エネルギー不安や通貨変動の嵐が激しく吹き荒れ、巨大な衝撃波が次々とわが国を襲ったのであります。あなたは、あのぶあつい肩でこの嵐をがっしりと受けとめ、寝食を忘れて国民生活の安定を確保するみちを探索されました。わが国が、第二のエネルギー危機を世界のいずれの国にも増して見事に克服し得たのは、あなたの輝かしい功績であります。

大平総理

あなたは、さらに、国際情勢の緊迫する中で首脳外交を展開され、わが国の国際的地位の向上に大きく貢献されました。諸外国との友好親善関係を深め、世界の平和と秩序の維持・発展のためにあらゆる努力を傾けられ、とりわけ、わが国外交の基軸である日米友好親善関係をかつてないほどに強固なものとされたのであります。さらに、昨年六月、「東京サミット」を成功に導き、世界経済の発展のために大きな貢献をされ、十二月には中国を、本年正月には臺灣、ニュージーランドを訪れて、これら諸国との友好を深められました。また、この五月には、アメリカ大陸へ飛び、米国、メキシコ、カナダを歴訪されました。この旅の終わり近く、ユーゴのチトー大統領の訃報に接するや、急拠予定を変更して国葬に参列し、帰途には西独に立ち寄るなど、世界を一周する超人的なスケジュールを消化されたのであります。

少しは休養をとるようにと求める私たちに対して、あなたは、「政治家は倒れて後やむ」と肯んじませ

んでした。われわれは鈍牛と渾名されたあなたが、内においても外においても東奔西走、疾風迅雷のごとく立ち働く有様を、驚異と畏敬の念をもって見守るばかりでありました。しかし、われわれは、不覚にも、あなたの肉体がいまや極限のぎりぎりまで使い果たされていたことに気づかなかつたのであります。国内政局の不安定もいあなたの精神をさいなむ要因であつたにちがひありませんが、顧みて痛恨の極みであります。

国運をにない、重大な使命を果たして長途の旅から帰られたあなたを待つていたかのように内閣不信任案が上程され、しかも予期せぬ事態によつてこれが可決されました。あなたの決断は速やかで、ただちに衆議院の解散が決められました。

人を愛すること深く、争いを好まず、静かな思索を求め、「明日枯れる花にも水をやる心を大事にした」と言われた心やさしいあなたに、時代は、さらに苛酷な克己と緊張を強いたのであります。

ひとたび「総理」病いに倒れるの報が伝わるや、快癒を願う国民の声は巷にあふれ、海外からも、心からなる見舞が寄せられました。医師・看護団の献身的な加療によつて、病状は、日を追うて快方に向かうかに見えました。われわれは、ようやく愁眉をひらき、あなたもまた、病軀を押して、ベネチア・サミットに出席する決意を固められました。これに伴う諸般の準備を指示された、まさにその翌朝未明、病勢にわかに革まり、人びとの祈りも空しく、不帰の客となられたのであります。

大平総理

あなたは、病床にあつても、終始政局の安定を念じつつづけられました。選挙は無事終わり、見事な成果

を収め得ました。しかし、その結果をご報告しようにも、あの温顔は、もはやありません。断腸の思いとはまさにこのことであります。

あなたを失って、その存在の大きさを知り、われわれの失意と喪失感は、たとえようもありません。ましてや、ご遺族の悲しみはお察しするに余りありません。

大平総理

神は、時代が最も危険な曲り角を曲る時、あなたを選んでわが国の指導者とし、その運命を託されました。あなたは、深い思索と倦むことを知らない努力によって、立派にその使命を果たされたのであります。われわれは、あなたの志を継いで、政治の信頼を回復し、新しい時代を切り開いていくことを誓います。ここに、国民の皆さまとともにあなたのご功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

休むことを知らず、苦難に耐えてまっしぐらに走ってこられた大平総理。いまはただ安らかな眠りをお祈りして、お別れの言葉といたします。